

ロータリー ライオネス 青年会議所 キワニス

安城南ライオンズクラブ(LC)は1967年、安城LCをスポンサークラブに結成された。発足以来、半世紀にわたり地域の子どもたちの交通安全や青少年育成事業などの奉仕活動に継続して取り組み、本年度に結成50周年を迎えた。19日には関係者を集め、安城市内で記念式典も開催する。節目となる50周年に会長を務める杉浦弘昌氏に、会長方針や記念事業など本年度の取り組みを聞いた。

(安城)

会長に聞く



「奉仕活動ができるようこびに感謝したい」と話す杉浦会長

安城南ライオンズクラブ 杉浦 弘昌氏

「会長方針は、
伝統ある安城南LCの第
50代会長を拝命し、身に余る
光栄と責任の重さを感じてい
る。本年度のスローガンは
『笑顔のために。LIONS SPIRIT 安城南 50 th』。原点・一丸・向上と、
奉仕活動を通じてライオネス
メンバー間と地域との絆を深
めるのが目的だ。結成から半

世紀、地域と共に、地域に役
立ちたいというライオネスス
ピリットにいきさかの揺るぎ

一地域のため長年続けてい
る事業も多い。
「結成以来の継続している
事業の一つが、交通安全ワッ

ペーンの配布だ。外出時に市内
の全園児にワッペーンを右腕に
付けてもらい、横断歩道を渡
る場合などの交通安全に役立
てる。当時は鈴が鳴る

方の腕を挙げて横断歩道を渡
つて」と呼び掛けていた。ま
た、県中小体育連盟安城支部
に各競技の優勝旗レプリカを
贈るなど、青少年健全育成に
も継続して取り組んでいる」

「本年度は、どのような事

業を展開してきたか。

「10月には、盲導犬育成支

援のためチャリティーゴルフ

大会を開催し、334A地区

8R・14クラブのライオネス

同村に寄付し

まモンのグッズ

や特産品などを

販売し、売上金

全額の58万円を

同村に寄付し

ました。熊本県阿蘇

郡西原村の村議

会議長にもお越

しいただき、熊

吉劇場を開催した。会場には、

「今後、時代が求めるニ

ズに対応しながら、時代に合

った奉仕活動が必要になる。

地域との連携も欠かせない。

若い世代が入会したいと思

う。私は自身は、LCは勉強の

場と考えている。普段は知り

合うことのできない人生の大

先輩や、異業種の人たちと共に活動できる。出会いの場で

もあることが魅力の一つだ。

若い世代にもライオニズムの

醍醐味(だいごみ)を実感し

てもらえるよう、これからも

努力を惜しまない」

【メモ】創立=1967年
△会員数=81人(2017年
7月現在、家族会員含む)△
例会=第1・3木曜日△事務

局=安城市御幸本町11の29・
岡崎信用金庫安城市店内△電

話=0566・76・873

メンバート地域の絆深める 福祉向上へ車いす110台寄贈



地域の福祉向上のため、車いす110台を寄贈した

3話

メンバー150人に参加して
もらつた。会場には、中部盲
導犬協会の常務理事、盲導犬
と訓練士の方にも来場してい
ただき、育成資金として50万
円を贈った。6月には、JR
安城駅近くの厚生病院跡地に
オープンした中心市街地拠点
施設「アンフォーレ」の図書
情報館に、利用者カードの交
付申請書を記入する記載台も
設置した。同施設は、安城駅

付近の活性化やにぎわい創出、
情報発信拠点としての役割が
期待されている

「10月に安城市社会福祉協
議会に車いす110台を寄贈
した。大人用100台と子ど
も用10台で、主に各町内会や
市内8カ所の福祉センターで
使つてもらう予定だ。背景に
は安城市の人口増加や高齢化
に伴い、車いすの貸し出しが
増えている現状などがある。

貸出用の車いすも老朽化し、
使つてもらう予定だ。背景に
は安城市の人口増加や高齢化
に伴い、車いすの貸し出しが
増えている現状などがある。

新たな車いすの調達が必要だ
った。LCが率先し、地域の
福祉向上に取り組むことに意
味がある

「会員増強にも力を入れて
いる。

新規会員登録も積極的に行
なっている。普段は知り

合うことのできない人生の大

先輩や、異業種の人たちと共に活動できる。出会いの場で

もあることが魅力の一つだ。

若い世代にもライオニズムの

醍醐味(だいごみ)を実感し

てもらえるよう、これからも

努力を惜しまない」

NEWS&TOPICS

- ROTARY CLUB
- LIONS CLUB
- JUNIOR CHAMBER
- KIWANIS CLUB